



◆巻頭言 「モノ」は大切に

手持ちのオーディオ機器のうち、30年以上使用続けたアンプがついに動かなくなりました。メーカーではとくに修理対応していないのですが、愛着があるので、修理できないものかとネットで調べてみると、意外と修理業者が沢山いるのです。（リタイア後のエンジニアとかオーディオマニアが多いようです。）色々調べ、都筑区の業者に見積りを申込むと、なんと、2,3か月待ちとのこと。ポイ捨てがはびこる世の中、機器を大切に永く愛用しようという人が沢山いるのだと、予想外の事実に関心しました。3か月半待ち、やっと順番が回ってきて、アンプを持ち込み（30kg 近くあるので大変）。一週間後、修理可能とのことで見積り報告がありました。驚いたことに、詳細な要修理項目の説明ばかりか、メーカーの生産時のミスまで指摘してくれたのです。車でいえば、4気筒のものが、今まで3気筒で走っていたようなもので、本来の性能が出ていなかったのだそうです。これも併せて修理すること。即、修理依頼。帰ってきたアンプを鳴らしてみてもビックリ。本当に音が違うんです。感激でした。買い替えなどしなくてよかったとつくづく感じました。おかげで、このところあまり聴けなかったLPレコードも聴くようになり、いろいろな音源を毎日楽しんでいます。

この件に絡んで思いついたのが、我々の使用する道具類のことです。チェーンソーはじめ諸道具の普段の手入れを丁寧に行い、大事に永く使わねばいけないんだなと感じさせられました。心して作業をしていきたいと思います。

（浅見）

次回の予定

●令和元年9月・10月の活動予定

- 1) 9月8日（日）9時半～14時半〔定例作業〕 ・集合場所 池の下広場
 ◇作業目的：2階層管理型スギ林を目指した保全作業
 ・作業場所：尾根道・大丸エリア（区域A）
 ・作業内容：アオキ・シロダモ・ネザサの皆伐と整理
 ：区域Aでの相対幹距比の測定・モニタリング
 ・持ち物 常備具（手ノコ・ナタ・カマ）、お弁当、飲料水、防虫剤
 【持参器具】作業旗、シート、救急箱、刈払機、チェーンソー、カケヤ、
 刈り込みハサミ、ロープ、スコップ等
- 2) 9月22日（日）9時半～14時半〔定例作業〕 ・集合場所 池の下広場
 ◇作業目的：2階層管理型スギ林を目指した保全作業
 ・作業場所：尾根道・大丸エリア（区域A）
 ・作業内容：アオキ・シロダモ・ネザサの皆伐と整理

： 相対幹距比 19.8 を目指した間伐（スギの）作業

： 遊歩道の草刈り

・ 持ち物 常備具（手ノコ・ナタ・カマ）、お弁当、飲料水、防虫剤

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、刈払機、チェーンソー、カケヤ、
刈り込みハサミ、ロープ、チルホール、スコップ等

3) 10 月 13 日（日）9 時半～14 時半〔定例作業〕 ・ 集合場所 池の下広場

◇作業目的： 2 階層管理型スギ林を目指した保全作業

・ 作業場所：尾根道・大丸エリア（区域 A）

・ 作業内容：アオキ・シロダモ・ネザサの皆伐と整理

： 相対幹距比 19.8 を目指した間伐（スギの）作業

： 安全作業講習会

・ 持ち物 常備具（手ノコ・ナタ・カマ）、お弁当、飲料水、防虫剤

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、刈払機、チェーンソー、カケヤ、
刈り込みハサミ、ロープ、チルホール、スコップ等

4) 10 月 27 日（日）9 時半～14 時半〔定例作業〕 ・ 集合場所 池の下広場

◇作業目的： 2 階層管理型スギ林を目指した保全作業

・ 作業場所：尾根道・大丸エリア（区域 A）

・ 作業内容：アオキ・シロダモ・ネザサの皆伐と整理

： 相対幹距比 19.8 を目指した間伐（スギの）作業

・ 持ち物 常備具（手ノコ・ナタ・カマ）、お弁当、飲料水、防虫剤

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、刈払機、チェーンソー、カケヤ、
刈り込みハサミ、ロープ、チルホール、スコップ等

（元年 11, 12 月号の原稿に関し、上記活動報告は岡 相子氏、巻頭言は渡邊富男氏、
リレートークは酒巻史朗氏です。原稿の締め切りは元年 10 月 25 日（金）です。小宅氏
迄宜しく願います。）

欠席される方は、メール（TOKAMI6666@aol.com）又は電話（894-2800）で山上部会長迄

【瀬上さとやまもりの会 活動日誌】

（1）令和元年 7 月 14 日（日）雨天により活動中止

（2）令和元年 7 月 28 日（日）7 時迄雨のち晴れ 光が丘剪定

参加者： 高嶋 丸山 三島 渡邊 山上 渡部 伊藤 計 7 名

台風 6 号崩れで心配するも、実施できた。7：45～11：00



作業前



作業後

隣家のススキ迄もカット

かなり枝下し、スッキリ

(3) 令和元年8月3日 ① 救急救命講習 9:00~12:00

参加者： 浅見 枝村 岡 小宅 小嶋 高妻 高嶋 武内

戸賀澤 中塚 野沢 丸山 山上 渡邊 渡部 伊藤 計16名

ボラ塾生 3名 合計 19名受講

桜井 相田 佐藤 斎藤 4名の講師

○心肺停止から4~5分で脳障害が起こる。蘇生と植物人間になるのとは大違い、少しでも早い蘇生活動がのぞまれる。



講習の様子



5班に分かれそれぞれ実地訓練



② 森づくりでの危険作業に関する安全講習 13:00~15:00

参加者 午前中と同様19名

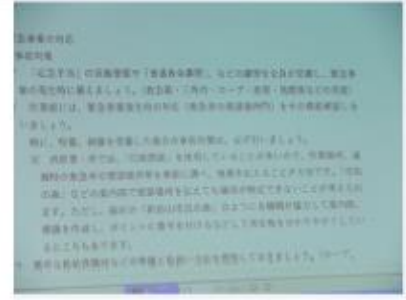
講師 丸山氏 栄消防署備品のチェーンソー、チルホールを利用、仕様などを勉強、座学ではプロジェクターを使用し説明を受けた。



消防署備品のチェンソーとチルトホール



丸山講師の説明



プロジェクターでの説明

③ 納涼会 17:30~20:00 於:大船 『海福』

参加者 浅見 岡 小宅 小島 三島 枝村 酒巻

高嶋 戸賀澤 中塚 渡邊 渡部 伊藤 計13名

病氣療養の連絡あった酒巻氏お会い出来て安心しました。

余裕さえ感じましたので早々の復帰を期待します。

◆ リレートーク

リレートーク 「50周年記念の船旅」

小嶋泰家

大動脈弁手術から3年、ようやく日常生活にも慣れて来た。ただし、後遺症によるものか、加齢によるものか判然としないが、内股がだるい。特に坂道の登りた例えば瀬上の池からいっしんどう広場までの登りや駅の階段の登りがつらい。毎日のジョギング訓練でも目立った回復はない。このため瀬上さとやまもりの会への参加回数が減り、いのやまプラチナ会（ハイキングクラブ）への参加回数もこれまでの半分以上となってしまった。これではダメだと一念発起、おそろおそろ医者に旅行を提案すると、気をつければOKとのコメントを得た。

折しも筆者は今年5月に結婚50年（世にいう金婚）を迎えたので、思い切って10日間の地中海クルーズ（いわゆる船の旅）に妻と出かけることにした。もちろん病院の薬10日間分のほか、足の痙攣に備え貼り薬、塗り薬持参、医師の診断書付きである。結果はけがもなく無事に旅を終えたが、強いて言えば丘の上の教会への数十段の石段はさすがにつらかった。また時差ボケ（夜不眠）の回復にも一週間ほど悩んだ。内股のだるさも依然残っている。

この旅を通じ、筆者は出来るだけ上記クルーズの寄港先4カ国の山の整備状況を見ることに務めた。時間的には極めて限られたスケジュールだったので、詳しいことはわからなかったが、いずれの国も温暖な土地柄故、荒れた山は殆ど見ることなく、船上そして上陸した港では地上から自然の美しさを堪能することが出来た。モンジュイックの丘、マルセイユの丘、ジェノバの後背地、ナポリの火山、小島の港、シチリアの萌葱色の城壁、マルタの市街が青々と緑に覆われていることに安堵した。寄港した街は殆ど石造りであったが、郊外へ出るとたとえばシチリアのいろは坂など、日本と変わらぬ光景に親近感を覚えた。筆者は高齢で来年傘寿を迎えるが、横浜市の緑を守るべく極めて微力ではあるが、これからも瀬上さとやまもりの会で森の整備に体の許す限り参加したいと思う。これが旅を終えて得たひとつの感想です。



地中海クルーズ

以上

◆ 編集後記

今年は冷夏だとか言っていたが、全く逆の 35 度を超える猛暑。熱中症にならない様、クーラーの効いた室内で、水分を多めに取って過ごしていた。庭は全く放置していたので、雑草が伸び放題、5 月のゴールデンウィークに植えたミニトマトやゴーヤはたいした収穫もなくこの夏が終わりそう。虫の音も大きくなって、少し涼しくなってきたので、そろそろ庭の整備に取り掛かろうと思っている日々である。

(押木)